



## 最後の挨拶当番です。みんな元気に挨拶 してくれて嬉しかったです。

朝のあいさつ運動 11月 2・6年生の保護者のみなさんから



- 昨年より自らあいさつしてくれる子も増えてきているように感じた。
- 以前よりみんな元気にあいさつできていて、元気もらいました。
- 朝、大きな声であいさつしている子が多くこちらにも元気になります。
- 元気に挨拶してくれる子が増えました。
- 目を見てあいさつしてくれる児童が増えて嬉しいです！
- 顔を見てあいさつしてくれる子がいました。
- いつもお世話になっています。挨拶が元気よく朝から元気を頂きました。有り難うございました。
- 子どもたちが登校してくると、一気に活気づきますね！元気な子供たちに元気をもらいます。
- 寒い中、元気な子やねむそうな子など、いろいろな表情が見られてみんな頑張っているなと思いました。
- 今日も元気なあいさつでした。
- 子供たちが元気にあいさつしてくれて嬉しくかわいかったです。



冒頭のコメントは、6年生の保護者の方からです。一昨年から始めた「朝のあいさつ運動」、こんな風を感じてくださっていることを嬉しく思いました。さらに、今回は「以前と比べると、元気にあいさつする子が増えてきた。」とのコメントが続いて嬉しく思っています。「顔を見て、目を見てあいさつしてくれる子が増えた。」というコメントもあります。あいさつ運動の成果が出ているんですね。

実際に「あいさつ運動」に参加していただくと、あいさつの仕方は子供によって様々なことに気が付くことでしょう。あいさつしても反応のない子（あいさつされていることに気が付かないのか、気が付いてもしないのか）、あいさつを返す子、顔を向けてあいさつする子、自分からこちらの目を見てあいさつする子などです。保護者の皆さんのコメントを読むと、やはり「目を見てあいさつを返してくれる子」「自分からあいさつする子」が好ましいと考えているのが分かります。

ご自分のお子さんには、どうあって欲しいのでしょうか？

「あいさつは強要するものではない。」とも言いますが、教えなければあいさつはできません。こういう風にすると相手は気持ちよい、自分も気持ちよい、ということを大人が教えていく必要があると考えています。「はずかしいから…年頃だから…できなくても仕方ない」でよいのでしょうか？

振り返って、自分自身のあいさつはどうか？相手の目を見て気持ちのよいあいさつになっているのか… 毎朝、そんなことも考えながら子供たちとあいさつを交わしています。

